



YUME いっぱい

よく考える子 しんせつな子 きたえる子

佐世保市立吉井北小学校

学校通信 10号

R02.07.15 (水)

文責 校長 堤 祐子



大雨時の緊急対応へのご協力、ありがとうございました

先週は大変な大雨でした。ご自宅や周りに被害はなかったでしょうか。月曜日は授業を切り上げて5校時一斉下校でのお迎えのお願い、火曜日・金曜日は朝から急な休校のお知らせをいたしました。各ご家庭にご協力をいただき、おかげさまで、児童は安全に過ごせました。本当にありがとうございました。

今後も大雨、またこれからは台風なども気になるところです。急な対応等発生する場合も考えられますので、引き続き安心メールのこまめなチェックをお願いいたします。また、通学路等の安全についてお気づきがあれば、遠慮なくお知らせください。よろしくお願いいたします。

メールが届かない！…その時は？

先週火曜日の臨時休業時には、学校からの発信がアクセス集中でなかなかきませんでした。また、金曜日の臨時休校時には、6時31分に配信したものの、タイムラグがあったり不達だったりして大変ご迷惑をおかけしました。

今後も大雨のみならず台風対応など不測の事態において緊急メール配信をする場合が考えられます。その場合には、以下のようにご対応ください。

- ① 学校からはなるべく「〇時までにメールを配信します」と予告をします。
- ② 予告の時間になってもメールが届いていない場合には、HPをチェックしてください。
- ③ ①・②が難しい場合には、直接学校へお問い合わせください。



異学年で仲良く！ 縦割り活動が始まりました



7月より、今まで休止していたいくつかの取組を、様子を見ながら順次スタートしています。

その一つに「縦割り活動」があります。縦割りは、1年～6年の子どもたちが赤白それぞれ5班に分かれて、異学年で交流する活動で、一緒に給食を食べたり、掃除をしたり、遊んだりします。例年5月に行っていた運動会のチームも、この赤組と白組に分かれて競い合います。縦割り給食は、現段階では難しいのですが、掃除と遊びについては進めています。

1日には早速縦割り班に分かれて、顔合わせをした後、班のみんなで遊びました。どの班を見ても、6年生一人一人がしっかりリーダーとして進めている姿があり、とても頼もしく思いました。6年生の指示の下、みんなで「ハンカチおとし」「震源地」や「フルーツバスケット」などのゲームで盛り上がっていました。

14日からは、いよいよ縦割り掃除も始まりました。いつもの掃除より、ずっと熱心に頑張っているようでした。異学年で交流すると、一人一人がしっかりと自覚するようです。低学年にやさしく声をかける高学年の姿もありました。

縦割り活動をきっかけに、6年生がリーダーシップを発揮して、異学年どうしで仲良くなり助け合う北小になってほしいと願っています。

お待たせしました！水泳学習開始！！

少しの晴れ間を狙って、先週やっとプールの補修工事に着手していただき、今週からプールで水泳学習の開始です。早速、昨日5・6年生でプール開きをしました。少し寒かったものの、待ちわびた水の感触に大喜びの子どもたちでした。梅雨が明けると一気に暑くなりそうです。コロナ対策、熱中症対策にも気を付けながら、今年度の貴重なプール学習を、有意義に取り組みたいと思っています。



優しい心を優しい言葉で育てる～1年「ふわふわことば」

1年生は学びの基本を作る時期ですので、担任は一つ一つ丁寧に指導を重ねていますし、子どもたちも指導したことを素直に守ろうと努力しています。先日ご紹介した靴並べもそうですね。

今力を入れているのが「ふわふわ言葉」です。優しい言葉や丁寧な言葉を使うと、お互いに温かく優しい気持ちになります。しかし、どんなに相手のことを思っても乱暴な言葉を使うと、誤解されたり、いやな気持ちになったりします。1年生はたくさんのふわふわ言葉を使うことで、優しい学級を目指しています。



校長室の窓から④ ～「ありがとう」と「おかげさま」の心～

先日からの大雨で保護者の皆様には幾度となくお迎えや休校の対応をしていただき、心から感謝をすると同時に、思ったことがあります。それは・・・

「あなたたち、ちゃんとありがとうと言っている？」「ありがとうと言うんだよ。」

何人かの子どもたちに尋ねたり、呼びかけたりしましたが、数人の子が「だれに？」ときょとん。お家の方々がお忙しい中に、仕事の工面をしたり、ご家族で調整し合ったりしてお迎えに来てくださっていることに気づいていないようです。親にしてもらうことを当然と思っているのでしょうか。

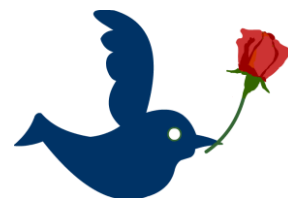
誰かの働きに気づく「おかげさま」の心が足りなくなってきたのでは、と感じた瞬間でした。

「おかげさま」に気づくと、自然と感謝の言葉「ありがとう」が出てきます。子どもたちの周りには「おかげさま」だらけです。お家の方のおかげでご飯が食べられる、暖かい布団で寝ることができる、学校にも通える。付き添って見守ってくれる人がいるから、安全に集団登校できる。友だちのおかげで学校が楽しい。先生のおかげで勉強ができる。調理師さんのおかげでおいしい給食が食べられる。モノを作る人のおかげでモノが使える・・・。

小さいうちから、周りの当たり前のことにこそ気づかせ、「おかげさま」と思える感謝の心を育ていくためには、教師や親など大人が意図的に伝えていかなければならないのだと思います。

ちなみに私は子どもたちがいてくれるおかげで、こうして教師という仕事をしています。感謝の毎日です。

**私の、このヘタな文字、つたない文章も
見てくれるひとのおかげで
書かせていただけるんです
「おかげさんで」でないものは
この世に一つもありません。
みんな「おかげさん」で
成り立っているんです**



相田みつを氏の詩より

お知らせ

★ 運動会は11月15日（日）に予定しています。コロナ過の中でこういった開催ができるかは検討中ですが、子どもたちの心に残る大切な一日にしたいと思います。ご参観をお待ちしております。